

# がん患者コミュニティサロン通信

秋田赤十字病院 がん患者コミュニティサロン



新緑がひととき色鮮やかさを増し、心身に安らぎとリラックスを与えてくれる季節になりました。時の流れは早いもので、もうじき梅雨入り、これからは雨上がりのあじさいの美しさを味わうことができますね。みなさまにおきましては、おおいに季節の移り変わりを楽しむことができますよう、願っております。



## ～この間のサロンの会から～

3月は、平成29年4月～平成30年3月の会計報告と今年度のミニレクチャーについて話し合いました。前年度は毎回レクチャーを企画したこともあり、トークの時間が少なかったため、今年度は病状・近況などを話し合う時間を多くしていくこととなりました。初めて参加された方もじっくりとお話できるよう、ゆったりとした時間の流れと雰囲気を楽しみたいと思います。また、レクチャーにおいては、できるだけ赤十字病院職員さんからのご協力をお願いしていくことにしました。早速、4月のレクチャーは、サロンの会を担当して下さっている川原看護師さんから「がん相談支援センターの役割」について、お話して頂くこととなりました。5月は、毎回欠かすことなくサロンの会にアドバイザーとして参加して下さっておられるアデランス・安田さんから「アピアランスケア・メイク」について、6月は、この4月からの「診療報酬改定に伴う医療費」について、医事課の方からお話を頂くことになりました。みなさまの参加をお待ちしています。

薬物療法（抗がん剤治療）における外見的副作用として、脱毛・皮膚の色の変化、爪が黒くなる、手足の皮膚が乾燥する、こうした副作用に対応する方法として、帽子をかぶる、ウィッグ（かつら）を着ける、サングラスやマスクをかける、夏でも長袖を着る、手袋をするなどがあります。

特に女性にとっては髪の毛、まゆ毛、まつげが抜けることによる外見的イメージの変化は、とてもつらいことです。「アピアランス」とは外見の変化のことだそうです。5月のレクチャーでは、ケアの一つとしてメイクの仕方を学ぶことで自分らしく、元気に日常生活を送りたいですね！

「がん相談支援センターの役割」について、裏ページに掲載しています。



## ～がん相談支援センターの役割～

### がん相談支援センターってどんなところ？

がん相談支援センター看護師・川原明子さん



がん相談支援センターは、私たちががん患者にとって困ったことや悩んでいること、不安や疑問など率直に相談できる身近な存在であり、心強い存在です。センターの役割について改めて学びたく、サロンの会を担当して下さいとおられる川原看護師さんより、「がん相談支援センターの役割」についてお話を伺いました。

はじめに、がん相談支援センターの概論的なお話がありました。「がん対策基本法」という法律が平成18年に制定。これは、がん対策を総合的かつ計画的に進めることによりがん対策の一層の充実を図ることを目的としています。この基本法に基づき、がん診療連携拠点病院が指定され、秋田赤十字病院は「地域がん診療連携拠点病院」として指定されています。そして、①専門的ながん医療の提供②地域のがん診療の連携協力体制の構築③がん患者に対する相談支援及び情報提供等を行っています。

### ～赤十字病院・がん相談支援センターの役割～

◎赤十字病院・がん相談支援センターは平成20年4月開設。専門の看護師、医療ソーシャルワーカー、内容によっては薬剤師、栄養士と連携して対応されているとのこと。

◎治療・心の悩み・家庭・仕事・医療費など、がんに関する医療や療養生活などの相談ができる場所です。

がんに関する相談では、『がん告知をされ、頭が真っ白だ』『不安な気持ちを聞いてほしい』『主治医にどう聞けばいいのかわからない』『医療費の支払いがきつい』といった心や治療、医療費など、個々が抱える問題に対応されています。さらには、退院後の日常生活のこと、ウィッグや乳がん術後の補正具のこと、在宅にて介護を臨まれる方への具体的アドバイスなど、多岐にわたっています。

◎活動も幅広く、①がんに関する相談②一般ながんの情報提供③医療機関の情報提供④セカンドオピニオンの相談⑤コミュニティサロン（サロンの会）の支援⑥リンパ浮腫相談⑦就労支援⑧アピランスケア⑨親ががんのお子さんへの支援、等を行っているとのこと。

◎平成28年～平成29年の一年間での相談件数は607名、月平均件数では50.5名。対象についてはご本人が82%、ご家族が17%とのことでした。



最後に、川原看護師さんが大切にしておられる事について、がん患者さん一人ひとりが抱えておられる身体的苦痛、心に抱えている苦痛や問題に寄り添い、患者さんから学び、最善を尽くすことです。と、優しさの中に力強いお言葉を頂戴しました。大変ありがとうございました。

**\*赤十字病院・他の病院に関わらず誰でも利用可能とのこと。（患者さん・ご家族・他）**

**料金無料 相談方法⇒面談、電話、メール可能とのこと。**

**お一人で悩まずがん相談支援センターにぜひご相談下さいね。**

